

【速報】 スー・チー国家顧問ら拘束 23 日目のミャンマーの様子
～ヤンゴンから～

2021 年 2 月 24 日

ミャンマービジネスサポートデスク 西垣 充

ミャンマーから 22 日～23 日の状況をお伝えします。

22 日は全国にて数百万人規模の抗議行動が行われ、ショッピングセンター含めほとんどの店、会社が休業しましたが、23 日からは多くが再開されています。

①テレビ

国軍系放送、国営放送、民間放送については、2 月 2 日の状況通り。民間の大手衛星放送「SKYnet」では、多くの海外放送が視聴できなくなっていますが、「NHK プレミアム」と「CCTV4」は視聴できます。

②光回線、WIFI、携帯電話データ通信は、15 日から深夜 1 時～9 時の間遮断されています。フェイスブック、ツイッター、インスタグラムなどの SNS は引き続き閲覧できなくなっています。

③電話その他通信関係

携帯電話の国内通話、国際通話は繋がりにくい状況ではありますが、いずれの携帯電話会社も通話及び SMS は使用できています。

④日常生活での支障

ヤンゴン市内では、22 日全国規模の抗議運動のため、ほとんどの店舗が休業しましたが、23 日からは多くの店が営業時間を短縮して再開しています。大手流通小売り「City Mart」や宅配デリバリーサービス「GRAB FOOD」及び「GRAB MART」なども、22 日は休業しましたが、23 日から営業再開しており、レストランの多くも 23 日から営業再開しているようです。

邦銀については営業していますが、地場銀行については、ATM について一回の引出し金額制限を設け使用できます。窓口業務は休止している所が多く、一部業務を再開させた所も出てきましたが、引き続き業務に支障が出ています。モバイル決済サービスの「Wave Money」は地方都市も含め一部使え送金が可能のようです。

ヤンゴン市では、20 時から 4 時までの夜間外出と、公共の場での 5 人以上の集会の禁止が発令されています。

⑤日系企業の対応

在宅勤務にしている所が多いです。

⑥公共交通機関

<国際線・国内線>

便数は少ないものの運航されているようです。

<バス>

抗議行動により、ヤンゴン市内バスは減便運航されているようです。また道路封鎖により、ルートを変更して運航、もしくは運休されているようです。運転手、助手不足により、料金が通常より上がってきているようです。

<タクシー>

一般タクシーは通常通りですが、台数は減っているようです。大手配車アプリ GRAB タクシーは、9時～19時で営業しています。通常より値段が上がってきているようです。

⑦物流

国際宅配便 DHL ヤンゴン事務所に確認したところ、週1便(日曜日)海外配送・着送されるようです。荷物受付には、事務所に営業しているか事前確認してくださいとのことです。EMSは電話が通じません。

国内物流については、前回報告通り、休業している所も増えていますが、業務を行っている会社もあり、国内物流は動いています。タイ国境などへの物流は動いており、タイ国境の税関は通常通りで、タイとの陸路輸送は問題ないようです。

港湾局は閉鎖され、海上輸送は止まっており、輸出入が出来ない状態のようです。

航空貨物は動いているようです。

⑧工場稼働状況

22日は全国規模の抗議活動により、多くの工場が休業したようです。23日からはティラワ工業団地、ミンガラドン工業団地内の多く工場が就業時間を配慮しながら工場再開しているようです。

【大阪産業局ミャンマービジネスサポートデスク】

受託事業者: J-SAT Co., Ltd. 代表取締役 西垣 充

#1210, 12A Floor, Sakura Tower, No.339,

Bogyoke Aung San Road, Kyauktada T/S, Yangon, Myanmar